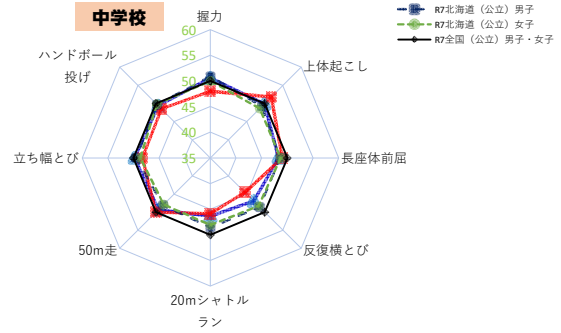
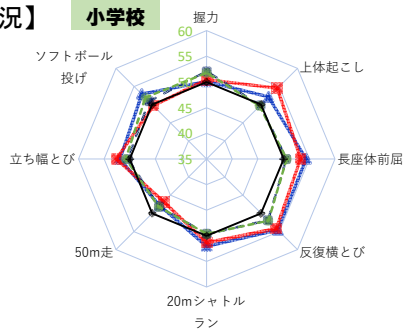


令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 中標津町内の小・中学校の状況

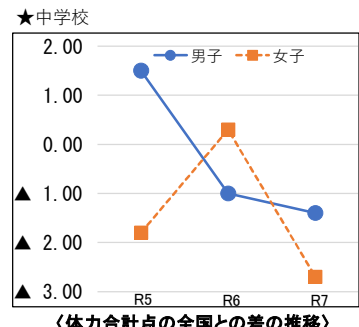
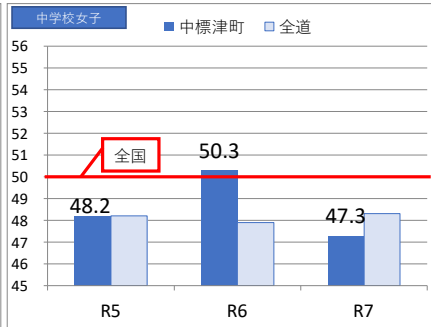
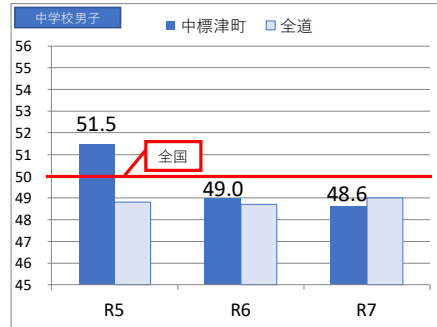
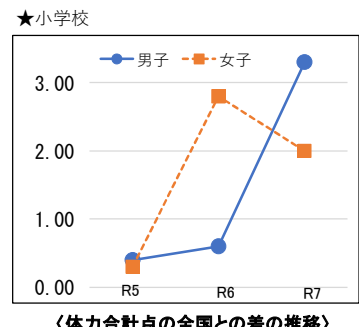
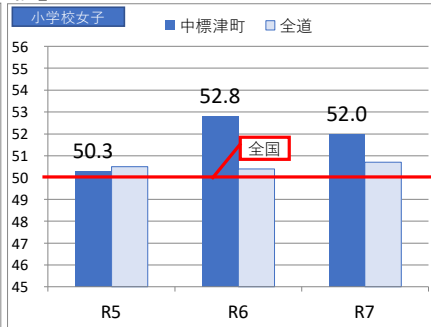
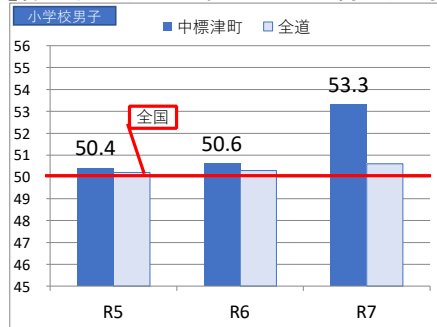
学校数：小学校4校・児童数164名、中学校3校・生徒数180名

○ 実技に関する調査の状況

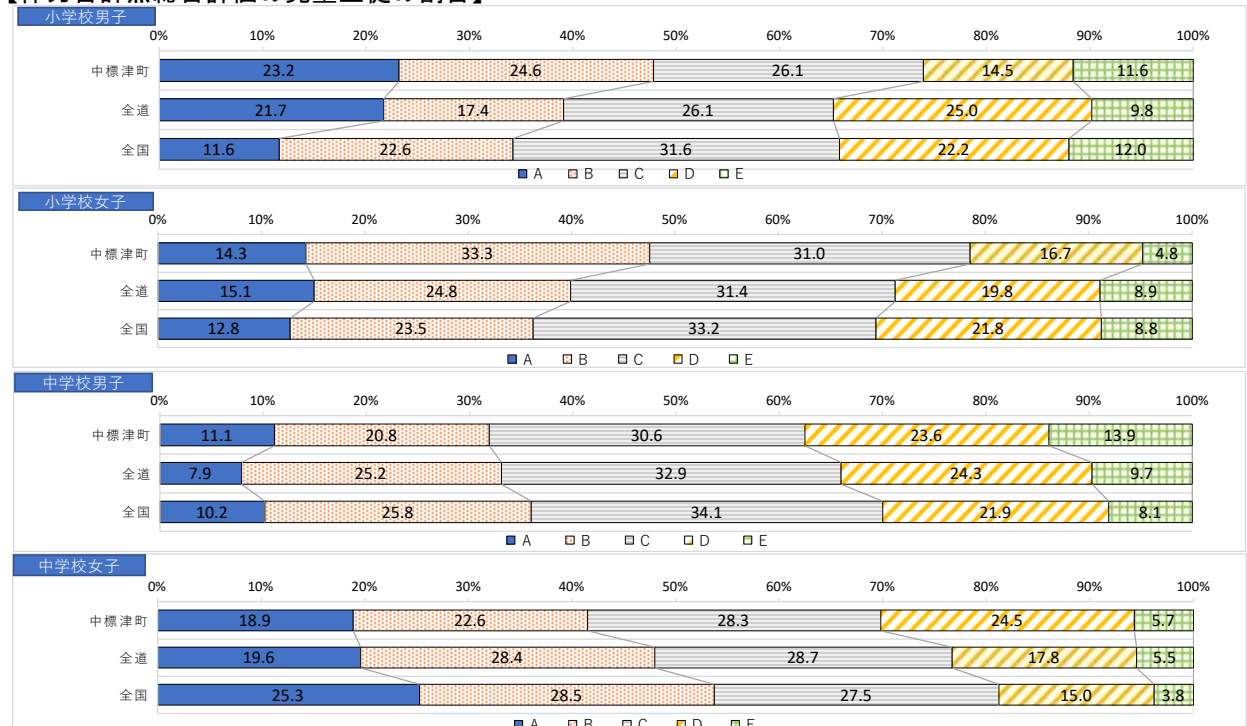
【各種目の状況】



【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】

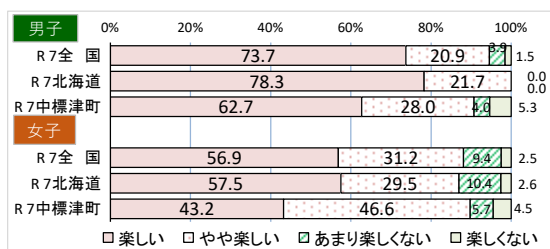


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

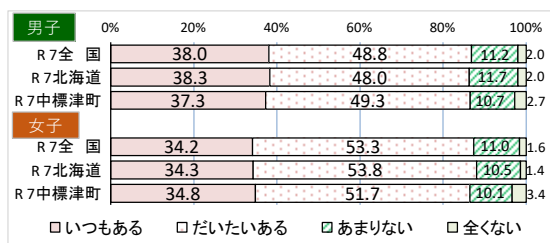
【児童質問調査】

- ・体育の授業は楽しいですか。

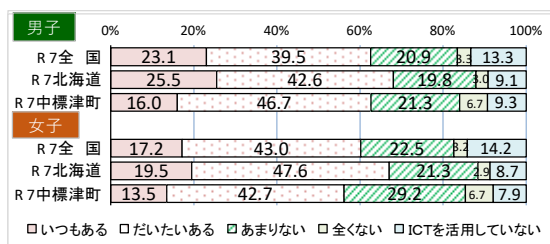


【児童質問調査】

- ・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがあります。



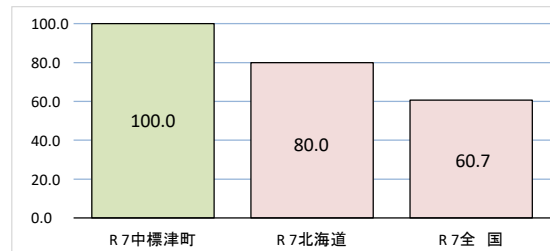
- ・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



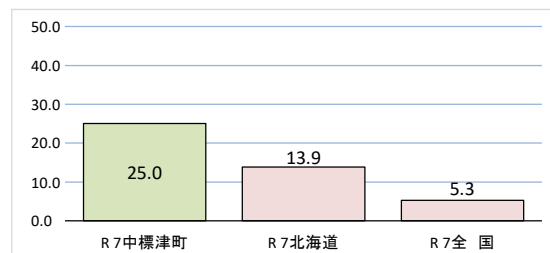
【学校質問調査】

小学校

- ・体育授業において児童同士で話し合う活動を行っている。



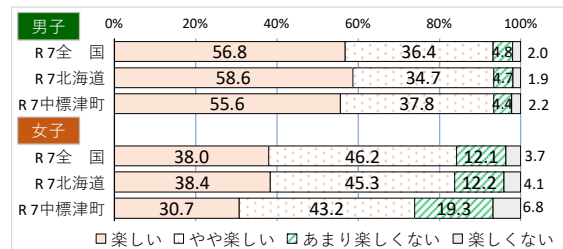
- ・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

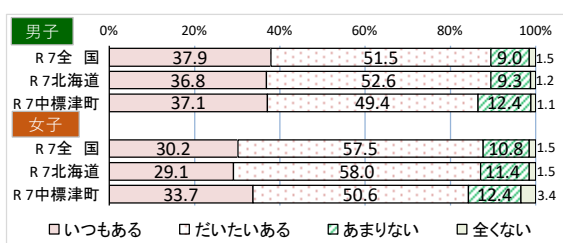
【生徒質問調査】

- ・保健体育の授業は楽しいですか。

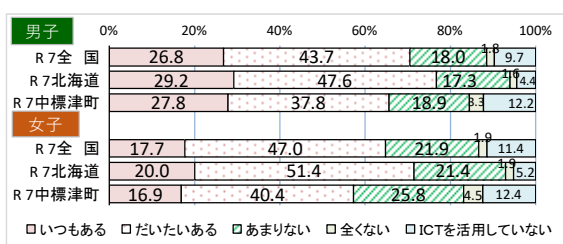


【生徒質問調査】

- ・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがあります。

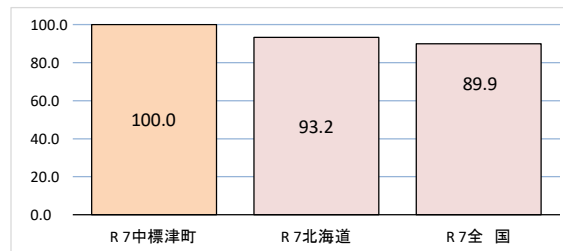


- ・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。

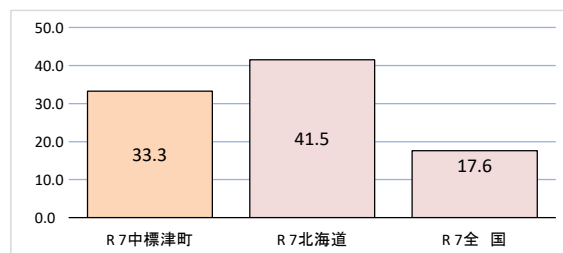


中学校

- ・保健体育授業において生徒同士で話し合う活動を行っている。



- ・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において友達同士で助け合ったり、教え合ったりする場を設定して運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合が全国及び全道と同等程度となったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較してＩＣＴの活用頻度は高いものの、ＩＣＴの活用が技能や知識の定着に十分つながっていないため、体育の授業でタブレットなどのＩＣＴを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において生徒同士で助け合ったり、教え合ったりする場を設定して運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、男子において意欲が高まり「体育が楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が全国及び全道と同等程度となったと考えられる。

【課題】

・全国と比較してＩＣＴの活用頻度が高いものの、知識や技能の定着につながっておらず、保健体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、女子において「保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。